

事業名：公共街路灯新設更新等事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内全域									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市が管理している市道道路照明について、必要な改修及び更新等を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公共街路灯の新設・更新により、その機能の維持・向上と、夜間の地域環境の向上が図られる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内全域面積	Km ²	187.57	187.57	187.57	187.57
対象指標 2						
活動指標 1	新設更新灯数	基	85	57	14	45
活動指標 2						
成果指標 1	公共街路灯数	基	3,181	3,232	3,284	3,361
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	7,083	25,028	13,760	40,750
正職員人件費 (B)		千円	4,688	2,749	1,564	1,530
総事業費 (A+B)		千円	11,771	27,777	15,324	42,280

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	道路照明設備点検事業により判明した老朽化による倒壊危険度が高い公共街路灯の更新、撤去	老朽化した公共街路灯の更新に係る経費 街路灯台帳修正 750千円 街路灯更新工事 40,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市が管理する河川及び調整池	
手段（事務事業の内容、やり方）	
江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。 1) 法面補修工事、浚渫工事 2) 管理用道路補修工事 3) 調整池における防護柵補修など	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	26	27	27	27
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	8	3	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	3	0	3	3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	6,852	8,712	8,900	8,500
正職員人件費 (B)		千円	2,344	2,356	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	9,196	11,068	11,247	10,795

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	浚渫工事の実施	準用河川床ざらい工事（豊幌川） 3,700千円 遊水地床ざらい工事（大麻排水機場） 1,800千円 その他緊急工事 3,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心		戦略						
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
排水機場									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	排水機場数		箇所	18	19	19	18
対象指標 2							
活動指標 1	維持管理経費		千円	51,912	60,240	66,216	60,862
活動指標 2	施設巡回・点検回数		回	9	9	9	9
成果指標 1	不具合件数		件	0	0	0	0
成果指標 2							
事業費 (A)			千円	51,912	60,240	66,216	60,862
正職員人件費 (B)			千円	4,688	4,712	4,693	4,591
総事業費 (A+B)			千円	56,600	64,952	70,909	65,453

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	市内排水機場（18機場）の点検整備・維持修繕、緊急排水運転	市内排水機場管理委託 44,453千円 市内排水機場自家用電気工作物点検 972千円 市内排水機場緊急排水運転 5,000千円 市内排水機場燃料費 1,104千円 市内排水機場光熱水費 4,600千円 市内排水機場施設等修繕費 1,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	19機場の内、登満別排水機場を基幹水利施設管理事業（国庫補助事業）で実施する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
河川防災ステーション									
手段（事務事業の内容、やり方）									
河川防災ステーションの維持・管理を行う									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設が適切に管理運営され、災害時に防災拠点として利用される。また、平常時には利用者が多目的に利用できるとともに、河川への防災意識の向上が図られる。									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	施設数		施設	1	1	1	1
対象指標 2							
活動指標 1	開設日数		日	307	308	308	308
活動指標 2							
成果指標 1	不具合件数		件数	0	0	0	0
成果指標 2	利用者数		人	74,877	74,257	73,054	81,655
事業費 (A)			千円	17,387	17,957	20,175	20,255
正職員人件費 (B)			千円	4,688	4,712	4,693	4,591
総事業費 (A+B)			千円	22,075	22,669	24,868	24,846

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別河川防災ステーションの維持管理	館内管理業務 12,506千円 燃料費 1,310千円 光熱水費 3,221千円 施設等修繕費 300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の 基本方針	02 地域防災力の向上			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	平成32年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
同計画に基づき耐震化を促進するために民間住宅の所有者に対して無料耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	対象建築物数	戸	1,390	1,390	1,390	1,390
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	330	0	1,800	750
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	3	4	0	0
成果指標 1	補助利用率	%	18.3	0	100	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	2	0	0	7
事業費 (A)		千円	330	0	1,800	750
正職員人件費 (B)		千円	4,688	5,497	5,475	5,356
総事業費 (A+B)		千円	5,018	5,497	7,275	6,106

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無料耐震診断 ・専門家が行う耐震診断及び耐震改修工事に対して補助金を支出 	耐震診断・耐震改修への補助 750千円（半分は国費による交付金）

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。 H28～H29 C棟建設，H30～H31 D棟建設，H32～H33 E棟建設，H34～H35 F棟建設	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	330	286	334	280
対象指標 2						
活動指標 1	建設戸数	戸	48	0	48	0
活動指標 2	除却戸数	戸	8	44	0	54
成果指標 1	団地改善率	%	14.5	16.8	28.7	34.3
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	622,726	316,169	902,955	389,181
正職員人件費 (B)		千円	7,032	7,068	7,040	6,886
総事業費 (A+B)		千円	629,758	323,237	909,995	396,067

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 新栄団地C棟建設工事（建築工事・各種設備工事）【H28-H29継続事業】 新栄団地既存住宅・集会所除却工事（13棟54戸・1棟） 	<ul style="list-style-type: none"> 新栄団地C棟建設工事 288,773千円 新栄団地既存住宅・集会所除却工事 100,408千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：江別の顔づくり事業（街路事業等）

顔づくり推進室都心整備課 都心整備係

政策	05 都市基盤				戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進				プロジェクト					
					プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成31年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金		

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	都心地区（野幌駅周辺地区）
手段（事務事業の内容、やり方）	・街路事業等を活用した道路整備を行う。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	・野幌駅を中心とした幹線道路網や歩行者ネットワークの整備及び交通バリアフリー化等により、安全・円滑・快適な道路網が形成される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	都心地区の面積	ha	240	240	240	240
対象指標 2						
活動指標 1	道路整備延長	km	0.35	0.13	0.34	0
活動指標 2						
成果指標 1	事業進捗率（累計）	%	13	16	21	40
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	352,087	126,074	205,089	590,113
正職員人件費 (B)		千円	58,598	58,898	58,665	65,034
総事業費 (A+B)		千円	410,685	184,972	263,754	655,147

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（2工区）の用地買収、物件補償 都市緑地の測量・樹木調査、基本構想策定 	<ul style="list-style-type: none"> 野幌駅南通（2工区）の用地買収 156,670千円 野幌駅南通（2工区）の物件補償 393,342千円 都市緑地の測量・樹木調査 6,900千円 都市緑地の基本構想策定 2,800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性			減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業） 顔づくり推進室都心区画整理課

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいてつづくり				
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）				
				プログラム	① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上				
開始年度	平成 7年度	終了年度	平成36年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
土地区画整理事業施行地区（野幌駅周辺地区）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
土地区画整理事業により、公共施設等（都市計画道路、駅前広場等）の整備改善を行うとともに、土地の高度利用・複合利用に向け宅地を再編する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
鉄道により分断された南北市街地を一体化し、野幌駅を中心とした機能的で魅力的な市街地を形成する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	施行地区の面積	ha	10.6	10.6	10.6	10.6
対象指標 2						
活動指標 1	仮換地指定進捗率（累計）	%	69	77	100	100
活動指標 2	物件移転進捗率（累計）	%	62	82	95	97
成果指標 1	事業進捗率（累計）	%	45	63	80	83
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,309,181	1,318,323	1,108,442	609,606
正職員人件費 (B)		千円	78,130	78,530	78,220	76,511
総事業費 (A+B)		千円	1,387,311	1,396,853	1,186,662	686,117

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 野幌駅前南口広場・コミュニティ道路整備工事 ○ 物件補償 ○ 測量委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路等工事費 419,977千円 ○ 物件補償費 144,098千円 ○ 測量等委託費 37,430千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持		○		
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別の顔づくり事業（商業等活性化事業）

顔づくり推進室都心整備課参事（活性化事業推進）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成11年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
野幌駅周辺地域 「野幌駅周辺地区活性化計画における対象区域」	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民交流や市民活動の拠点づくりと、活性化活動団体や商店街等の行う地域の活性化に向けた取り組みを支援する。 ・「江別の顔づくり支援促進事業補助金交付要綱」に基づき、江別の顔づくり事業を推進し、野幌駅周辺で活動する団体等に対し、事業費の7/10（事業費30万円以上のもの）を補助する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
街なかに賑わいを醸し、商業等の活性化を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	野幌駅周辺の面積	h a	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	350	350	350	350
活動指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの数	回	12	11	10	11
成果指標 1	活性化活動拠点の利用者数	人	5,680	2,840	0	0
成果指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの参加者数	人	59,800	37,600	50,300	51,000
事業費 (A)		千円	1,978	1,029	368	368
正職員人件費 (B)		千円	19,533	19,633	19,555	19,128
総事業費 (A+B)		千円	21,511	20,662	19,923	19,496

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別の顔づくり事業の推進に寄与する地域活性化事業に対する補助	江別の顔づくり支援促進事業補助金 350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：公園管理事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公園・緑地									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理及び管理運営を指定管理者に委任する。 平成27年度より、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園・緑地とする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	公園緑地数	箇所	228	230	230	230
対象指標 2						
活動指標 1	指定管理料	千円	142,279	149,498	153,502	153,349
活動指標 2						
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	192,621	195,784	218,263	218,594
正職員人件費 (B)		千円	13,673	13,743	15,253	14,920
総事業費 (A+B)		千円	206,294	209,527	233,516	233,514

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 公園施設長寿命化計画に基づく遊具改築 遊具等の公園施設修繕 樹木剪定（危険木、高木）他 公園砂場砂入替、公園ベンチ及び外柵修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 153,349千円 一般工事費 25,000千円 施設等修繕費 10,000千円 維持補修関係委託料 18,900千円 維持補修関係工事費 10,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：市民参加による公園づくり事業

都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民参加による再整備公園									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、再整備が必要な公園の全面改修整備を実施する。 整備内容については地域の子ども達や自治会の参加によるワークショップ会議により計画する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。 公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。 									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	再整備公園数	カ所	0	1	1	1	
対象指標 2							
活動指標 1	ワークショップ開催数	回	4	4	4	4	
活動指標 2							
成果指標 1	累計整備公園数	カ所	10	11	12	13	
成果指標 2							
事業費 (A)		千円	900	53,589	39,626	44,826	
正職員人件費 (B)		千円	2,344	7,853	6,258	6,121	
総事業費 (A+B)		千円	3,244	61,442	45,884	50,947	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ななかまど公園再整備工事（野幌若葉町） 面積：約0.3ha 遊具更新、バリアフリー等 実施設計委託費、ワークショップ運営費 	<ul style="list-style-type: none"> 一般工事費 41,000千円 一般委託料 3,800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：町名板再整備事業

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・来訪者 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付 2. これまで設置した信号機型町名板等について点検を行い、安全性を確認する 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民及び市内来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	143	328	130	247
活動指標 2	信号機型町名板等点検数（平成28年度から）	ヶ所	0	0	0	23
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	15	13	12	10
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,565	3,204	1,872	1,848
正職員人件費 (B)		千円	1,563	2,749	2,738	3,826
総事業費 (A+B)		千円	5,128	5,953	4,610	5,674

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 街区型町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区型町名板の貼付 ・未貼付箇所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ～住民及び来訪者の安全性を図る ・これまで設置した信号機型町名板の点検を行い、安全性を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・街区型町名板製作費等 621千円 ・街区型町名板貼付意向調査 113千円 ・街区型町名板設置委託 184千円 ・街区型町名板現況調査委託 191千円 ・信号機型町名板安全点検委託 739千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	信号機型町名板等設置業務について業務内容見直しを行い、新規設置から既存施設の安全点検とした。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名： 団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
団地集会所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
団地集会所の維持・管理	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
集会所利用者が安心して利用できる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						
活動指標 1	利用可能日数	日	306	308	308	308
活動指標 2						
成果指標 1	集会所使用件数	件	547	507	600	600
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,697	2,779	2,818	2,793
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	765
総事業費 (A+B)		千円	3,478	3,564	3,600	3,558

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	・ 団地集会所の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会所管理人報酬 1,800千円 ・ 集会所燃料費 112千円 ・ 集会所光熱水費 616千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市営住宅入居者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く。）。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	1,018	1,006	1,050	1,030
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	2,081	2,023	2,140	2,080
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	625	576	600	550
活動指標 2						
成果指標 1	入居率	%	85.5	84.5	88.2	87.1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	43,332	45,156	46,745	47,450
正職員人件費 (B)		千円	13,282	13,350	13,297	13,007
総事業費 (A+B)		千円	56,614	58,506	60,042	60,457

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の小規模修繕 住宅設備の保守点検 家賃の決定及び徴収・滞納整理 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅の修繕費 20,000千円 保守点検等の委託費 15,447千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名： 弥生団地大規模改善事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市営住宅（弥生団地）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標 2						
活動指標 1	外部改修戸数	戸	24	24	55	24
活動指標 2	設備改修戸数	戸	0	0	0	24
成果指標 1	団地改善率	%	4.8	9.6	20.6	30.1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	69,772	74,153	15,300	117,958
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	765
総事業費 (A+B)		千円	70,553	74,938	16,082	118,723

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 弥生団地C棟外部改修工事（屋根改修、外壁塗装、アルミサッシ化等） 弥生団地A棟給水設備改修工事 	<ul style="list-style-type: none"> 弥生団地C棟外部改修工事 93,744千円 弥生団地A棟給水設備改修工事 21,946千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：住宅取得支援事業

建築指導課

政策	05 都市基盤			戦略	3 次世代に向けた住みよいいつづくり					
取組の 基本方針	01 市街地整備の推進			プロジェクト	B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えつ版コンパクトなまちづくり）					
				プログラム	③ 高齢者等がいいきと活動しやすい居住環境の充実					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	その他	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
親と同居・近居して住宅取得又はリフォームを希望する世帯及び住宅取得を希望する多子世帯									
手段（事務事業の内容、やり方）									
補助金交付要綱に基づき、以下の要件に該当する方に対し、住宅取得費・リフォーム費用の一部を助成する ・親と同居又は近居のために住宅を取得する方 ・親と同居するためにリフォームする方 ・住宅を取得する多子世帯（18歳未満の子が2人以上いる世帯）									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
多世代同居・近居支援による転出抑制、多子世帯支援による転入促進・転出抑制を図り、高齢・子育て世帯の定住化を進める									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	親と同居等して住宅取得等を希望する世帯及び住宅取得を希望する多子世帯数（特定不能）	世帯	0	0	0	0	
対象指標 2							
活動指標 1	交付申請受付件数	件	0	0	0	219	
活動指標 2							
成果指標 1	支援により定住した世帯数	世帯	0	0	0	219	
成果指標 2							
事業費 (A)		千円	0	0	0	50,000	
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	5,356	
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	55,356	

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・親と同居又は近居のための住宅取得費用助成 ・親と同居するためのリフォーム費用助成 ・多子世帯への住宅取得費用助成 	住宅取得費、リフォーム費用の一部助成：50,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	人口減少問題への取組が喫緊の課題である中、まち・ひと・しごと創生総合戦略における人口減少対策として、多世代による同居・近居、並びに多子世帯への住宅取得等の支援を実施する事により、定住化（転出抑制・転入促進）を促進する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路景観づくり推進事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の道路 ・違反広告物 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。 ・広告主への除却指導（年数回） ・違反広告物の除却（年4回） ・石狩支庁への除却数の報告（年2回） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市内の国道・道道・市道実延長	km	863	863	863	865
対象指標2						
活動指標1	広告主への指導件数	件	5	3	10	10
活動指標2						
成果指標1	違反広告物の除却数	枚	1,227	997	1,500	1,500
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,001	769	1,329	1,329
正職員人件費(B)		千円	2,344	1,571	1,564	1,530
総事業費(A+B)		千円	3,345	2,340	2,893	2,859

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。 ・広告主への除却指導（年数回） ・違反広告物の除却（年4回） ・石狩支庁への除却数の報告（年2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・軍手等消耗品 23千円 ・除却活動員の保険料 6千円 ・広告物調査、除却委託経費 1,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：大麻市営駐車場管理経費

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
大麻市営駐車場	
手段（事務事業の内容、やり方）	
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車車の削減を図る。	

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1	
対象指標 2							
活動指標 1	指定管理料	千円	7,323	8,489	8,489	8,489	
活動指標 2							
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	42,591	44,821	40,000	40,000	
成果指標 2	苦情件数	件	0	0	0	0	
事業費 (A)		千円	7,323	8,489	8,489	8,489	
正職員人件費 (B)		千円	3,125	2,356	2,347	2,295	
総事業費 (A+B)		千円	10,448	10,845	10,836	10,784	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 市営駐車場の運営 指定管理者への管理代行 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 8,489千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：自動車対策事業

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
放置自動車	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市の道路パトロール及び市民の通報により撤去。 ・所有者が確認できない場合は、市の負担で行う。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
放置自動車により生じる障害の除去	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	放置自動車台数	台	0	0	3	1
対象指標 2						
活動指標 1	市の撤去した放置自動車数	台	0	0	3	1
活動指標 2	所有者が撤去した台数	台	0	0	0	0
成果指標 1	放置自動車撤去率	%	100	100	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	95	92
正職員人件費 (B)		千円	391	393	391	383
総事業費 (A+B)		千円	391	393	486	475

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	・ 放置自動車の撤去	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル料金 30千円 ・ 搬送料 62千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	低下			

事業名：自治会排雪支援事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
排雪指定路線以外の市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
自治会主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車両のみ）とダンプトラック（車両と運転手）を貸与する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
自治会区域内の排雪作業を支援し、交通の確保を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	832	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	排雪延長	km	339	339	339	339
活動指標 2						
成果指標 1	自治会排雪実施率	%	75	75	75	75
成果指標 2	自治会排雪実施自治会数	自治会	95	95	95	100
事業費 (A)		千円	226,281	173,074	179,181	183,428
正職員人件費 (B)		千円	1,563	5,497	7,040	6,886
総事業費 (A+B)		千円	227,844	178,571	186,221	190,314

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 排雪用ダンプトラック賃借料 ロータリ除雪車賃借料 	<ul style="list-style-type: none"> ダンプトラック、ロータリ除雪車賃借料 183,428千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
公共除排雪対象の市道及び公共施設等									
手段（事務事業の内容、やり方）									
午前1時までの降雪量が10cmを超えるなど、朝方迄に除雪作業が必要と予想される場合、午前7時迄に全作業を完了するよう除雪作業を行う。 また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
冬期間の円滑な道路交通網を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市道総延長	km	832	832	832	832
対象指標2						
活動指標1	除雪延長	km	727	727	727	727
活動指標2	排雪延長	km	123	123	123	123
成果指標1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	1	1	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	766,206	700,560	764,657	946,156
正職員人件費(B)		千円	15,235	22,774	19,555	19,128
総事業費(A+B)		千円	781,441	723,334	784,212	965,284

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪事業委託 農村地区除雪委託 雪捨場用地賃借 	<ul style="list-style-type: none"> 除排雪事業委託料 764,630千円 農村地区除雪委託料 94,176千円 雪捨場賃借料 6,855千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
一般通行の用に供する私道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
私道における冬期間の交通確保を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.7	1.65	1.65	1.62
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	773	876	1,109	1,449
活動指標 2						
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.7	1.65	1.65	1.62
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	773	876	1,109	1,449
正職員人件費 (B)		千円	391	393	782	765
総事業費 (A+B)		千円	1,164	1,269	1,891	2,214

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	・私道整備事業（除雪）補助金 1.0 自治会 L=1.62 km	・私道整備事業（除雪）補助金 1,449 千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：不法投棄対策事業（市道）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市道
手段（事務事業の内容、やり方）	市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑制する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市道延長	km	832	832	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	238	335	170	170
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,647	3,527	4,800	4,800
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	765
総事業費 (A+B)		千円	5,428	4,312	5,582	5,565

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	不法投棄物の巡回、回収、運搬、分別の委託業務	不法投棄対策委託業務 3,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持		○	
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名： 道道整備関連用地取得事業

管理課 総務係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成25年度	終了年度	平成34年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
土地（道道接続部分）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・事業用地内の土地や支障物件の評価 ・算定価格に基づく地権者との協議 ・地権者の同意に基づく用地取得 ・売買契約締結後の登記事務 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公共事業（道道と市道の接続部分）のために必要な土地を確保する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	対象地権者数	人	2	1	2	0
対象指標 2						
活動指標 1	交渉回数（年度ごと）	回	3	2	8	0
活動指標 2						
成果指標 1	契約者数	人	2	1	2	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,269	97	543	0
正職員人件費 (B)		千円	1,563	1,571	1,564	0
総事業費 (A+B)		千円	5,832	1,668	2,107	0

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	対象となる公共事業（道道と市道の接続部分）の該当なし。	

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	平成28年度、対象となる公共事業（道道と市道の接続部分）の該当がないため。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止			○	
廃止				
その他				

事業名：道路橋梁管理経費（臨時）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
老朽化による施設の更新等の修繕工事	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	832	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	実施延長	km	6.5	4.7	3.5	2.7
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	1,094	1,177	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	487,509	504,223	518,683	438,335
正職員人件費 (B)		千円	10,157	10,994	16,427	13,772
総事業費 (A+B)		千円	497,666	515,217	535,110	452,107

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 工事路線現況測量 路面凍上改修工事、道路再整備工事等 	<ul style="list-style-type: none"> 委託料 4,530千円 工事請負費 424,800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市道	
手段（事務事業の内容、やり方）	
道路の損傷箇所の修繕・復旧対応	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路の利用者が安心して通行できる道路を維持する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市道総延長	km	832	832	832	832
対象指標 2						
活動指標 1	市道管理延長	km	832	832	832	832
活動指標 2						
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	1,094	1,177	800	800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	153,017	155,187	150,100	150,008
正職員人件費 (B)		千円	8,594	9,424	10,169	9,564
総事業費 (A+B)		千円	161,611	164,611	160,269	159,572

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 路面清掃委託 道路草刈委託 道路維持作業委託 舗装補修工事 原材料費（砂利、常温合材等） 	<ul style="list-style-type: none"> 委託費 51,000千円 補修工事費 75,000千円 原材料費 17,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：ロードヒーティング管理経費

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤		戦略						
取組の 基本方針	02 交通環境の充実		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
路面融雪施設									
手段（事務事業の内容、やり方）									
冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性、利便性、快適性を高める。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	979.1	1,197.6	1,197.6	1,197.6
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m ²	5,673.1	6,765.5	6,765.5	6,765.5
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						
成果指標 1	管理上の不具合件数	件	5	5	0	0
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	28,110	28,251	37,409	36,224
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	765
総事業費 (A+B)		千円	28,891	29,036	38,191	36,989

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ロードヒーティング光熱費 ロードヒーティング機器類施設修繕費 ロードヒーティング点検委託 	<ul style="list-style-type: none"> ロードヒーティング光熱費 33,100千円 ロードヒーティング機器類施設修繕費 2,000千円 ロードヒーティング点検委託 1,085千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：橋梁長寿命化修繕事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
橋梁（市道）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。 ・事業の進め方については、5年を目途に定期点検を実施し、工事の優先性を検証することにより、効率的かつ効果的に計画を進める。 ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
計画的な予防修繕による橋梁長寿命化を図ることで、修繕費用等を縮減する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	橋梁（市道）	橋	0	155	155	155
対象指標2	修繕が必要な橋梁数	橋	0	46	46	46
活動指標1	当該年度修繕対象橋梁数	橋	0	2	2	1
活動指標2						
成果指標1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	0	4.35	8.7	8.7
成果指標2						
事業費 (A)		千円	0	51,103	70,000	75,000
正職員人件費 (B)		千円	0	3,927	3,911	4,973
総事業費 (A+B)		千円	0	55,030	73,911	79,973

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の定期点検 ・橋梁修繕工事の設計 ・橋梁修繕工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検委託 23,000千円 修繕工事実施設計 27,000千円 修繕工事 25,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路施設再整備事業

土木事務所道路管理課 維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	道路施設全般
手段（事務事業の内容、やり方）	道路施設において、総点検を行い現状の状況を把握する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	今後老朽化する道路施設全般について、総点検を行い、落下、倒壊等の恐れのあるものは改修、修繕を図り第三者への被害を防止する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	道路施設数	箇所	0	210	210	210
対象指標 2	点検対象道路延長	k m	0	247	247	247
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	0	193	10	9
活動指標 2	道路路面調査延長	k m	0	247	0	0
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標 2	改修、修繕延長	k m	0	0	0	1.8
事業費 (A)		千円	0	24,840	15,100	192,500
正職員人件費 (B)		千円	0	3,927	2,347	4,591
総事業費 (A+B)		千円	0	28,767	17,447	197,091

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁点検（跨道橋、跨線橋） ・舗装修繕工事 1,800m 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託料 45,500千円 ・舗装修繕工事費 112,000千円 ・負担金補助金 35,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：通学路安全対策事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
「江別市通学路交通安全プログラム」（H26年4月策定）に位置づけられた通学路（市道）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> 「江別市通学路交通安全プログラム」に基づく合同点検の結果、安全対策の要望があった通学路について、整備・改修（ハード対策）を実施する。 社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10） 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
合同点検の結果を受け、必要な整備・改修を行い、安全で快適な通学路を確保する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	整備・改修が必要な通学路	km	0	0	0.3	0.3
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の整備・改修の対象通学路	km	0	0	0.3	0.15
活動指標 2						
成果指標 1	対策が完了した通学路の割合	%	0	0	100	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	50,000	47,500
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,347	3,443
総事業費 (A+B)		千円	0	0	52,347	50,943

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 元野幌182号道路の南側歩道の拡幅（江別第二小学校指定の通学路） 元野幌182号道路の車道オーバーレイ舗装 道路回収に伴う道路台帳の補正 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道拡幅工事 27,100千円 車道オーバーレイ工事 20,000千円 道路台帳補正委託 400千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持			○	
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：道路橋梁再整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内の幹線道路（市道）	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> 路面性状調査の結果、損傷度が高いと評価された路線について、路盤改良やオーバーレイ舗装等の再整備を実施する。 社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10） 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> 冬期間の凍上や老朽化等により、損傷した道路の修繕を行うことで、車両等の安全な通行環境を確保する。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	再整備が必要な幹線道路	km	0	0	0.36	0.36
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の再整備の対象幹線道路	km	0	0	0.18	0.33
活動指標 2						
成果指標 1	再整備が完了した幹線道路の割合	%	0	0	50	100
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	41,900	74,020
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,956	4,973
総事業費 (A+B)		千円	0	0	43,856	78,993

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物調査設計（擁壁） ・ 兵村9丁目通り車道の道路改良 ・ 兵村9丁目通り歩道の道路改良 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造物調査設計委託（擁壁） 5,920千円 ・ 兵村9丁目通り道路改修工事 64,080千円 ・ 兵村9丁目通り歩道改修工事 4,020千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：百間境道路整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	未整備の百間塚道路（市道）
手段（事務事業の内容、やり方）	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路等公共施設のアクセスとして歩道の整備を行う。 ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6／10）
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の整備及び狭隘部の解消など生活幹線道路として必要な整備を行う。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	整備が必要な生活幹線道路	km	0	0	0	0.37
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の整備対象である生活幹線道路	km	0	0	0	0.08
活動指標 2						
成果指標 1	整備が完了した生活幹線道路の割合	%	0	0	0	21.6
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	74,607
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	4,973
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	79,580

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・元野幌274号道路改修の設計 ・元野幌274号道路改修に伴う物件調査 ・元野幌274号道路改修に伴う用地取得 ・元野幌274号道路の整備工事 ・元野幌66号道路の現況測量 	<ul style="list-style-type: none"> ・元野幌274号道路 実施設計委託 3,532千円 物件調査委託 3,068千円 用地取得 13,626千円 整備工事 18,528千円 ・元野幌66号道路 現況測量委託 4,700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	未整備の百間塚道路について、歩道の設置や狭隘部解消などの整備を行い、安全・快適な通行空間を確保する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：高砂駅周辺整備事業

都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の 基本方針	02 交通環境の充実			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
高砂駅北側の鉄西線（市道）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・高砂駅北側に、送迎車両用の駐車場を整備するため、JR協議（各種指定解除）、用地確定測量、支障木の伐採、埋蔵文化財発掘事前調査、埋蔵文化財発掘調査、駐車場整備の6項目を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・高砂駅北側の市道に、送迎車両が停車することによる車両渋滞の改善策として、駐車場の整備を行い、高砂駅周辺の通行環境の改善を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	駐車場整備箇所	箇所	0	0	0	1
対象指標 2						
活動指標 1	当該年度の実施対象項目数	項目	0	0	0	3
活動指標 2						
成果指標 1	実施済み項目の割合	%	0	0	0	50
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	33,405
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	35,700

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・JR協議（各種指定解除） ・用地取得に向けた用地確定測量 ・埋蔵文化財の発掘調査（事前） ・JR鉄道林用地の部分取得 	<ul style="list-style-type: none"> 用地確定測量委託 2,009千円 埋蔵文化財発掘調査（事前） 175千円 用地取得 30,150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	高砂駅利用者の送迎車両が、市道上に縦列停車することで車両渋滞が発生していることから、送迎車両用の駐車場を整備し、車両渋滞を解消することで高砂駅北側周辺の通行環境の改善を図る。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

